

支援策が合併特例債です。
合併特例債は、国からの借り入れ金で、平成十八年三月末日までに合併する市町村に限った特例措置ですが、この制度を活用するかどうかは、今後の新町における課題となります。

〔天畑卓也議員〕

〔質問〕洞爺村と虻田町が合併した場合、一般職の職員はどうなるのでしょうか。



今村議員が一般質問の趣旨説明を行う

〔答〕洞爺村と虻田町の合併により誕生する洞爺湖町役場は、現虻田町役場とし、洞爺村役場は、洞爺総合支所になり、規模は多少縮小されますが、これまでどおりの業務を行います。

これらのことから、洞爺村と虻田町の現在の職員は、全員洞爺湖町の職員として引き継がれ、洞爺湖町役場又は、洞爺総合支所に勤務することになります。

〔毛利瀬那議員〕

〔質問〕合併後の高台小学校の敷地の跡地利用については、計画は決まっているのでしょうか。私たちは総合的な学習で高台の小学校をレストランにするという案が出ました。校舎は洞爺小学校の校舎を利用しますが、バス通学はどのように運行していくのでしょうか。

また、洞爺高校は今後どのようになるのか教えてください。

〔答〕来年四月からの小学校統

合に伴う高台小学校の跡地利用について教育委員会として、高台地域での意見交換会の開催、村職員のワーキンググループでの検討、インターネットを活用したホームページの開設によりアイデアを募集する取り組みを行っています。最終的な方向性は、決まっていません。

レストランという案もあるということですし、幅広い案を参考に決定したいので、これからお知らせいただきたいと思っています。

高台地区から小学生三十六名、中学生十七名の五十三名が通学し、現在二台の二十九人乗りのバスでは乗りきれないため、来年三月に一台を四十五人乗りのバスに変更します。

多くの小学生がいつしよに利用することになるため、助け合い、譲り合って乗ってほしいと思います。

洞爺高校については、村立から町立の高校に変わりますが、現在の名称のまま存続す

ることになります。

よりよい教育に取り組んで行きたいと思っています。

〔南出涼太議員〕

〔質問〕今年の八月に宮城県で地震が起こり、さらに十月にはパキスタンで多くの死者を出した地震がありました。

今、避難所として使われることとなっている高台の小学校の扱いはどうなるのでしょうか。

また、避難所での緊急援助物資などの備蓄はどうなっているのでしょうか。

〔答〕本村においてもいつ起きるか分からない災害に備え、常に西胆振消防組合、伊達警察署、自衛隊などと連絡を密にし、災害等に対応しているところです。

閉校後の高台三校の活用については、現在地域の方々と役場職員などにより、今後どのように活用したらよいか検討していますが、まだ具体的な活用方法は決まっていません。

したがって、当面は新町において管理しなければならぬことから、災害時には避難所として活用したいと思っています。

また、洞爺地区の避難所は学校のほかに総合センターをはじめ、各地域にある会館など、十四カ所を避難所としていることから、学校にするか会館にするかは、災害の状況に合わせ、対応したいと思っています。

次に、避難所における緊急物資の備蓄についてですが、平成十二年の有珠山噴火災害を教訓として、毛布五百枚、洗濯機五台、その他スコップ、ヘルメット、懐中電灯などを備蓄しています。

また、食糧、水、医薬品などについては、備蓄していませんが、洞爺地区の商店、農協などから調達することにしており、必要な量が揃わない場合は、北海道に要請し、支給を受けることになっています。

飲料水については、新町に